

望月衛 もちづき けい 社會心理學者。明治四十二年十一月四日東京生れ（一九〇一）。昭和八年東京帝國大學文學部心理學科卒。海軍航空廠囑託となり、戦後東京實業振興所教育映画部に在籍して思想の科學研究會に参加する。一九二八年東洋大學教授、一九三九年千葉大學教授。

譯著書に、『マックス・ジモナイト著』『第一ドイツ戦争の心理學』將校の資質と其の文化業績』（譯編、昭和十七年八月十五日中川書房）、『航空心理學』（昭和十九年九月、千白小山書店）、『食慾の心理學』（昭和二十一年四月十五日大藏堂書房）、『夢とおとめびびー大衆娯樂の研究』（合著・思想の科學研究會編、昭和二十五年七月二十日中央公論社）『ひとびとの心理學叢書』（、『現代人の生態—ある社會的考察』（合著・思想の科學研究會編、昭和二十八年十一月二十日大日本雄辯會講談社）、『のぞきのたの純潔』（合著・村岡花子編、昭和二十九年十一月二十日二笠書房）『二笠新書』（、『言葉の魔術』（こころの研究室』（合著・日本放送協會編、昭和二十年九月二十五日大日本雄弁會講談社）『ミリアン・ブックス』（、『恋愛と友情』（合著・坂田志保編、昭和二十一年六月十五日池田書店）『教養新書』（、『恋愛のついで』（二十一年七月二十日知性社）『知性選書』（）等。

